



町 田 宗 宏

小中学校の全教室に エアコンを設置せよ

町 必要性は理解しているので、
他の行政課題などを踏まえて検討する

Q ことしの夏は、
35度を超える猛
暑日の連続だった。来
年以降もこの暑さが続
くと予測される。全教
室にエアコンを設置し、
子どもたちが勉強に専
念できるようにされた
い。

Q 群馬県下で2学
期制を採用して
いるのは玉村町だけだ
がある。長い伝統があり、
自然の摂理にかなない、
保護者の要望も多い3
学期制に戻されたい。

〈教育長〉 玉村町の2
学期制は、今年度で8
年目を迎えたところで
ある。「2学期制のよ
さ」を生かしつつ、特
色ある学校教育の取り
組みとして、さらに充
実させていきたい。

Q 昨年12月の定例
議会で質問した
「両水の南を通り歩道
橋に至る新しい通学路
の設置」について、

①これまでの経緯
②今後の見通し
について問う。

〈町長〉 現時点で、ま
だ関係者と協議してい
ない。

Q 子どもたちの命
にかかわる問題
である。9カ月間も放
置するとは言語道断で
ある。早急に進めてい
ていただきたい。

〈町長〉 他にも危険な
通学路がある。町の優
先順位に従って進めて
いきたい。

〈教育長〉 暑さ対策と
しては、水筒の携行・
普通教室への扇風機の
設置・特別教室へのエ
アコンの設置・グリー
ンカーテンの推進等を
実施してきた。全教室
へのエアコン設置の必
要性は理解している。
他の行政課題や学校の
要望等を踏まえて検討
したい。



エアコンが設置されている南中学校の図書室

多面的な政策の実施を

町 全員参加型政策の推進を目指す



原 幹 雄

Q 人口減少に歯どめを
かけるためには、住
宅地の継続的な供給が必須
と考えるが。

〈町長〉 文化センター周辺
地域を住宅地として開発す
べく、準備を進めている。
その他の地域での住宅地開
発については、文化センター
周辺地区の定住動向を見な
がら検討したい。また、市
街化区域内の未利用地、空
き家についても再生を検討
していきたい。

Q 企業誘致の状況及び
今後の施策は。

〈町長〉 当町には1320の
事業所があり、卸・小売業
がトップで286、製造業
が続いて204、建設業が
162となっている。町内
企業へのアンケート結果で
も、新設、移転・拡張の計
画があるとの結果が出てお
り、東部工業団地の拡張を
進めていきたい。

Q 庶民の生活を残す古
い建物や街並みの保
存・活用計画は。

〈教育長〉 町では文化財の
指定や登録、住民との協働
によるまちづくり、郷土の



宇津木 治宣

町政運営の基本理念を問う

町まちづくりの主役は町民であるとの基本認識に立ち、取り組んでいく

Q 少子高齢化時代が到来した。「限

りある財源を有効に使い、活気ある町をつくる」「未来の子どもたちに負担を押しつけない」など、厳しい財政運営が求められる。そこで、次の点について考えを伺う。初めに、「町民満足度の向上」について問う。

〈町長〉 社会状況は変化し、求められる行政サービスも多様化している。町民が何を求めているのか把握するために「町民満足度調査」を行った。「道路」「地域医療」「消防・防犯・交通安全」などの満足度が低かったため、「重要改善項目」とした。

Q 「町民との協働」に対する考えは。

〈町長〉 行政と住民が協力し合ってまちづくりを進めるために「協働によるまちづくり基金」を積み立て、関係する事業に充てている。「ウエルカム交流会」、「お庭おたすけた

い」、「玉村町こども囲碁教室」などが活動しており、「岩倉水辺の森フェスタ」はことしも継続して実施する。

住民活動サポートセンター「ぱる」も、これらの活動を支援している。

Q 「説明責任の徹底」を求める。

〈町長〉 私は就任以来、説明責任の徹底に努めてきた。町民と共通の認識を持つことは、信頼される行政の基盤づくりに欠かせないと考えている。

Q 「住民の生命財産を守る」ことについての考えは。

〈町長〉 地域経済が元気で、町民が安心して暮らせるまちを築く、そして福祉や教育に可能な限り配慮することが「住民の生命財産を守る」という私の責務だと考える。



にぎわう「岩倉水辺の森フェスタ 2013」

歴史や文化の啓発などにより、誇りと愛着を持てるまちづくりに取り組んでいる。

Q 美しい景観を生かしたまちづくりを。

〈町長〉 交通網の整備が進む中、美しい景観と都市的な環境の調和に留意し、当町らしい風景の維持保全を住民と行政が一体となって進め、住みたくなる地域・愛着の湧く地域づくりにつなげていきたい。



約50年前に撮影した火雷神社（下之宮）